

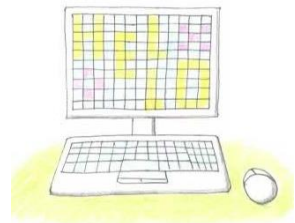
## 社会の中で生きる

神様は私たちが社会の中に生まれ、社会の中で一生を過ごすようにされました。社会は金魚にとっての水と同じように、その中にいる私たちには存在を感じませんが、そこから出たら生きていけません。

この課では、社会とはどういうもので、私たちはクリスチャンとしてその中でどのように生きていったらよいのかについて、ごいっしょに考えてみましょう。

### この課で学ぶこと

1. 社会とは
2. あなたの価値観はどこから？
3. 社会におけるクリスチャンの役割
  - (1) 文化命令
  - (2) 大宣教命令
  - (3) 地の塩、世の光
4. 具体的な取り組み
  - (1) 社会の必要に応える
  - (2) 環境問題
  - (3) 平和をつくる



●考えてみましょう

あなたは普段、社会の存在を意識していますか？

## 1. 社会とは

社会とは何でしょうか。社会とは人が集まって共同生活を営む時生まれる集団で、自然に発生するものと利害や目的に基づいて人が作るものがあります。家族、村、会社、教会、国家などです。私たちは、同時にいくつもの社会に所属しています。社会は私たちが生きていくために必要な物事すべてを提供しています。

私たちが「神のかたち」に創造された（創世記1：27）ということは、社会的存在として創造されたことも意味しています。私たちは個人としてバラバラに生きるように造られたのではなく、みんなで協力して社会を作っていく大切な使命を与えられているのです。

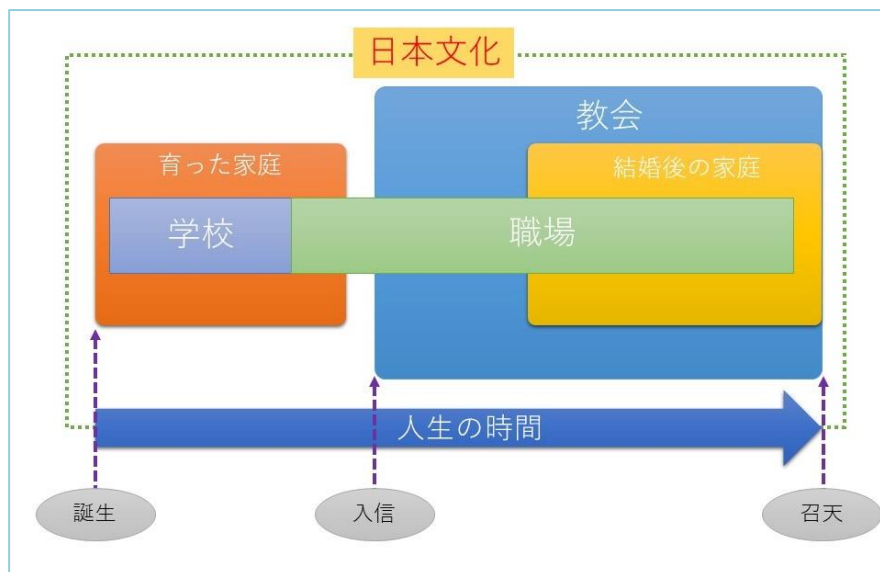
## 2. あなたの価値観はどこから？

今、あなたはどんな価値観を持っていますか。価値観とはあなたが大切に感じていることです。家庭を大切にする、友達を大事にする、クリスチャンなら信仰生活を大切にする、神様の栄光を現すなどです。その価値観はどうやって作られたと思いますか。

私たちは、その時、その時でいろんな社会に属しています。一つの家の中にも誕生し、学校、職場、教会、結婚して新しい家庭を持つ場合もあるでしょう。それぞれの社会は価値観を持っています。私たちには、その社会の中で重要な出会いがあります。両親、先生、友人、同僚、教会の人たち、妻や夫といった人と出会い、各々の社会が持っている価値観に影響を受けてきたのです。その他にも社会・文化の価

## 9 社会の中で生きる

価値観をネット、本、音楽、映画などを通して身につけることもあります。このことの一例を図で表すと以下ようになります。



ですから、私たちは自分が受け入れられていると感じる所で、大切な人との出会いによって価値観を受け継ぎ、人生が変えられていくのです。あなたは今までどんな大切な出会いがあったでしょうか。クリスチャンとしての価値観の形成には、生涯にわたって神様と出会い続けること、クリスチャンの仲間と交わり続けることが大切なのです。

### 3. 社会におけるクリスチャンの役割

私たちクリスチャンは、社会においてどのように生きていったらよいのでしょうか。聖書から大切なことを3つ教えられます。

#### (1) 文化命令

神様は人を創造された時、こうおっしゃいました。「・・・地を従え

よ。海の魚、空の鳥、地の上を這うすべての生き物を支配せよ」(創世記 1 : 28)。

これは神様から私たち人間に与えられた文化命令と呼ばれるものです。私たち人間は神様が造られた物や動植物(被造物)に対して所有権を持っておらず、世話をする権利を与えられているだけです。神様がこの宇宙に秩序を与えられたように、人はこの世界の生き物を従え、正しく管理することで、この世界に秩序をもたらす使命を与えられました。

私たちは壮大な交響曲「天地創造」を指揮している指揮者なのです。作曲家は神様です。生き物や自然界はそれぞれの楽器と演奏者にあたります。指揮者は自分勝手な指揮をしないで、作曲家の意図に従うように努力しなければなりません。人が神様のみこころに従って指揮をする時、オーケストラが美しいハーモニーを奏でるように、すべての神様に造られたものは調和して、神様への賛美をささげるのです。

### (2) 大宣教命令

イエス様は天に昇られる前に弟子たちにこうおっしゃいました。「わたしには天においても地においても、すべての権威が与えられています。ですから、あなたがたは行って、あらゆる国の人々を弟子としなさい。父、子、聖霊の名において彼らにバプテスマを授け、わたしがあなたがたに命じておいた、すべてのことを守るように教えなさい」(マタイ 28 : 18-20)。これは大宣教命令と呼ばれるものです。

イエス様は「あらゆる国の人々を弟子としなさい」と命じられました。イエス様の弟子は、イエス様の教えと生き方を自分のものとして実践していく人のことです。

イエス様の弟子をつくるには、出て行く必要があります。神様はあなたをあなたの家庭、職場、学校、地域に遣わされています。あなた

が一生の間に出会うすべての人は、神様があなたに出会わせてくださって、イエス様の弟子となる可能性のある方々なのです。ですから、家族や友人たちがイエス様を信じて従っていけるように、祈り続け、伝え続けましょう。

### (3) 地の塩、世の光

イエス様は私たちが社会において「地の塩、世の光」(マタイ 5:13-16) でありなさいとおっしゃいました。

#### ①地の塩

「あなたがたは、地の塩です。もし塩が塩気をなくしたら、何によって塩気をつけるのでしょうか。もう何の役にも立たず、外に捨てられて、人々に踏みつけられるだけです。」(マタイ 5:13)

私たちは地の塩として塩が腐るのをくいとめるように、この社会が道徳的に悪くなっていくの

を防ぐ使命が与えられています。この世の中には会いたくない人、愛せない人、見たくない現実もあるかもしれません。けれども、私たちは地の塩としてこの世に入っていかなければならないのです。

特に現代はコンプライアンス(法令順守)が重視され、不正が明らかになることが多い時代です。この世の人たちは、クリスチャンは不正をしない、きちんと筋を通す、聖い生き方をするといった期待を持



### コラム

#### あなたのカルカッタはどこ？

マザーテレサは、先進国の人たちから「私もカルカッタに行ってあなたの手伝いがしたい」とよく言われたそうです。そのたびに、この有名な言葉を伝えました。「カルカッタはあなたたちの周りにもある。」貧しい人たち、愛に飢えた人たちに仕えるためには、わざわざカルカッタに行かなくても、そういう人たちがあなたの目の前にたくさんいると伝えたかったのです。あなたのカルカッタはどこでしょうか。

っています。私たちはこの世と妥協してクリスチャンかどうかかわからない生き方をするよりも、クリスチャンとして腐敗を防ぐ務めを果たすことが期待されています。時には恐れて妥協したくなることがあるかもしれません。そんな時には、自分は地の塩であることを思い出しましょう。

### ②世の光

「あなたがたは、世の光です。山の上にある町は隠れる事ができません。また、明かりをともして柀の下に置いたりはしません。燭台の上に置きます。そうすれば、家にいるすべての人を照らします。このように、あなたがたの光を人々の前で輝かせなさい。人々があなたがたの良い行いを見て、天におられるあなたがたの父をあがめるようになるためです」(マタイ 5:14-16)。

私たちは世の光です。エルサレムの町がどこからも隠れることができないように、私たちクリスチャンも隠れることができないのです。私たちが放つ光とは、良い行いのことです。よい言葉も含まれるでしょう。それは私たちがすばらしいと言われるためではなく、私たちを輝かせていてくださる神様がほめたたえられるためです。

ランプを柀の下に置くように、私たちは罪におおわれてしまつては光を放つことができません。この世にそまらず、この世に飲みこまれず、きちんと自分の位置を保っている必要があります。

地の塩・世の光としての生き方は、まさにイエス様が示してくださいました。イエス様は積極的に罪人の中に入っていかれましたが、決して塩気を失うことなく、光を隠すこともされませんでした。私たちも地の塩、世の光として生きることによって、イエス様の愛が伝わり、世界が変えられていくのです。

## 4. 具体的な取り組み

最後に、社会においてクリスチャンとしてできる具体的な取り組みを考えてみましょう。

### (1) 社会の必要に応える

私たちの社会には、たくさんの必要があります。教会は長年にわたり、教育・福祉・医療などにたずさわり、人々に仕えてきました。食べ物や必要な物資を提供したり、子ども食堂、家族食堂などを開き、貧困家庭をフォローする教会もあります。また災害が発生したときに、支援・復興のための働きをしています。

教会のリーダーや仲間たちに声をかけて、社会の必要としていることを一緒に取り組むことも良いでしょう。私たちは自分の身の周りの人々を見て、目の前の一人の人の必要を考え、自分たちのできることをしていくことが求められているのです。

### (2) 環境問題

近年、SDGs(持続可能な開発目標)ということばをよく耳にします。今までの自己中心的な開発によって、環境が著しく破壊され、地域格差が生まれ、貧困に苦しむ人たちが多く出てしまいました。温暖化によって氷が溶けて海面が上昇し、住む場所を奪われてしまったり、異常気象によって世界各地で、洪水や干ばつが起り、たくさんの人が亡くなっています。

私たちクリスチャンは、この地球を少しでも良くするために、何ができるかを考えていく必要があります。SDGsを他人事にせず、文化命令に従うために小さな一歩から踏み出しましょう。

### (3) 平和をつくる

この世において、いつの時代にも争いがあります。それは私たちの

## 9 社会の中で生きる

罪の結果です。クリスチャンも例外ではありません。第二次世界大戦のとき、多くのキリスト教会と教団が戦争に積極的に参与して、大きな罪を犯してしまいました。私たちはこの罪を悔い改めつつ、まずは周りにいる人たちとの関係の中で平和を作っていきましょう。

### まとめ

私たちは社会の中で生涯を過ごします。それには大切な意味があります。私たちは社会の中で文化命令、大宣教命令に応えつつ、地の塩・世の光として生かされていきましょう。

Q

話し合ってみましょう

今置かれている社会（家庭、職場、学校、地域など）で、あなたがクリスチャンとしてできることは何でしょうか。具体的なことを3つ書き出してみましょう。